

# あいさつ運動の事例

岡山県立東備支援学校

児童生徒 136名 教職員数 81

のびよう のびよう とうびの子  
～ 学部をこえたあいさつ運動の取組 ～

## アピールポイント

高等部生徒会を中心とする取組で、小学部の児童に優しく声を掛けたり、手をつないだりする様子が自然と見られ始めた。バスを降りてすぐに、先輩に寄っていく児童もいる。初めは恥ずかしい様子があった高等部生徒も、少しずつ自信をもって、あいさつや対応ができ始めている。

## 実際の様子



## 取組の概要

### ■児童生徒の実態

全校136名の特別支援学校であり、約6割の児童生徒がスクールバスで登下校している。

### ■活動内容

本校が運行しているスクールバスの朝の出迎え時に、定期的に「あいさつ運動」をしている。

### ■取組の参加メンバー

高等部生徒会役員を中心とした高等部の生徒たち

### ■成果・効果

参加生徒たちにとって、上級生としてのあいさつの意識や相手に伝わる声の大きさの調整、人間関係づくりでの成果は大きい。小学部の児童がバスを降りてすぐ見慣れた「お兄さん」「お姉さん」にかけ寄っていく姿は見ていてもほほえましい。さらに、相手に応じたいろいろなあいさつやかかわり方ができるようになっており、校歌の歌詞にある「のびよう のびよう とうびの子」にふさわしい活動になっている。